

人と暮らしの伊那谷遺産プロジェクト

平成25年2月
天竜川上流河川事務所作成

伊那谷地域の「土木」、「暮らし」、「自然」などにまつわる先人の足跡を『伊那谷遺産』として選定・提案し、防災教育や地域振興を支援します

目的

伊那谷には美しくも厳しい自然風土の中で、土木のものづくりを工夫して生活を営んできた先人の足跡が多く残されています。土木のものづくりを振り返ることで先人が向き合ってきたことを再認識し、継承していくことは、地域の皆さんが地域の課題を一つ一つ克服していくうえで役立つものと考えました。天竜川上流河川事務所が進める治水・河川管理等の取り組みについて、これらの先人の営みを踏まえて整理して情報発信していくことで、防災教育や地域振興をより効果的に支援して参ります。

内容

- ① 『人と暮らしの伊那谷遺産プロジェクト選定委員会』の開催
- ② 選定した『伊那谷遺産』の公表
- ③ 『伊那谷遺産』を防災教育や地域振興などの様々な分野で活用

選定委員会



▲第2回選定委員会

選定委員会 委員名簿

(五十音順、敬称略)

委員長	笹本 正治	信州大学副学長
副委員長	戸田 祐嗣	名古屋大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻准教授
委員	伊藤 直喜	長野県飯田建設事務所
委員	大庭 晃夫	長野県経営者協会上伊那支部幹事長
委員	上沼 俊彦	長野県経営者協会飯伊支部幹事長
委員	蒲原 潤一	国土交通省天竜川上流河川事務所長
委員	高田 修	南信州広域連合事務局
委員	原 明善	長野県伊那建設事務所長
委員	平賀 研也	伊那市立伊那図書館長
委員	廣瀬 一男	上伊那広域連合事務局長
委員	本島 和人	飯田市歴史研究所調査研究員
アドバイザー	伊藤 一夫	上伊那郷土研究会会長
アドバイザー	小西 純一	信州大学名誉教授
アドバイザー	松島 信幸	伊那谷自然友の会常任委員

伊那谷遺産

名古屋の水除け

所在地：飯田市南和田名古屋山
建造年：江戸時代
昭和の初めの土石流でも家を守った実績がある



旧深沢川水路橋

所在地：辰野町から伊那市小沢川
年代：大正11年～昭和3年(1922～1928)
旧深沢川水路橋
箕輪町、昭和2年(1927)完成、昭和17年に深沢サイフォン完成により現在は道路橋として使用されている



六地藏と三界万霊塔

所在地：高森町市田駅の西
建造年：江戸中期～後期
未の満水の犠牲者を弔ったと言われる



人と暮らしの伊那谷遺産プロジェクト事務局

国土交通省 中部地方整備局
天竜川上流河川事務所 砂防調査課
TEL:(0265)81-6417
FAX:(0265)81-6421